

6月15日：新型コロナ第二波への懸念からベトナム株は下落

ベトナム株は月曜日の大きく下落、新型コロナの感染第二波への懸念から多くの銘柄が売られる展開となった。

ホーチミン取引所のVN指数は3.6%安の832.47ポイントで取引を終えた。

出来高は7億820万株で売買代金して22.7兆ドンであった。

新型コロナ第二波による経済活動への悪影響によってベトナム株式市場も売られることとなった。

アジアでは取引の引けにかけて多くの銘柄で売りが加速する展開となった。

日経225指数は3.5%安、韓国総合も4.8%安の大幅安となった。

SP500指数先物も2.9%ほどの下落を記録。

VN30指数は3.6%安の778.71ポイントで取引を終えた。

VN30指数採用銘柄の中では25銘柄が下落、5銘柄のみが上昇した。

大きく下落したのは、ペトロリメックス (PLX) (-2.7%)、ビナミルク (VNM) (-5.1%)、BIDV銀行 (BID) (-6.1%)、ペトロベトナムガス (GAS) (-3.4%)、テクコムバンク (TCB) (-5%)、ビンググループ (-3.1%)、ホアファットグループ (HPG) (-4.2%)、ベティンバンク (CTG) (-4.3%)、サイゴンビール (SAB) (-3.5%)などであった。

セクターごとでは、25セクター分類の内の24セクターが下落した。銀行、保険、証券、不動産、エネルギー、小売、などが下落した。

ハノイ取引所のHNX指数は2.64%安の113.82ポイントで取引を終えた。

同指数は先週1%近く下落していた。

出来高は8870万株で売買代金にして5275億ドンほどであった。

バオベト証券によると、VN指数は840-845ポイントを試す展開になるだろうとのことだった。

しかしながら、840ポイントを超えることが出来なければ、指数は780-810ポイントの下値支持線まで下落するかもしれない。6月限の先物の満期とETFのポートフォリオ見直しから相場は荒い展開が予想されると同社は予想した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。